

会議録	
会議の名称	平成25年度第1回清須市地域公共交通会議
開催日時	平成25年6月19日（水）午後2時から
開催場所	清須市役所本庁舎 3階大会議室
議題	<p>1 開会</p> <p>2 議事</p> <p>〔報告事項〕</p> <p>(1) 清須市コミュニティバスの運行・利用状況について</p> <p>(2) 清須市レンタサイクル事業の実施状況について</p> <p>(3) アンケート調査の結果について</p> <p>(4) 地域公共交通確保維持改善事業の第三者評価委員会の結果について</p> <p>〔協議事項〕</p> <p>(1) 平成25年度清須市地域公共交通会議スケジュールについて</p> <p>(2) 地域公共交通総合連携計画の一部改正について</p> <p>(3) 車両の更新について</p> <p>(4) 清須市生活交通ネットワーク計画（案）について</p> <p>3 閉会</p>
会議資料	<p>会議次第、配席図、委員名簿</p> <p>資料1 コミュニティバスの運行・利用状況概要</p> <p>資料2 レンタサイクル事業の実施状況</p> <p>資料3 コミュニティバス利用者、非利用者アンケート調査概要</p> <p>資料4 地域公共交通確保維持改善事業の第三者評価委員会の報告について</p> <p>資料5 清須市地域公共交通会議スケジュール案</p> <p>資料6 清須市地域公共交通総合連携計画（修正案）</p> <p>資料7 オレンジルート及びグリーンルートの車両更新について</p> <p>資料8 清須市生活交通ネットワーク計画（案）（国土交通省提出用）</p>
公開・非公開の別 （非公開の場合はその理由）	公開
傍聴人の数 （公開した場合）	0名
出席委員	前田委員、小澤委員、谷野委員、佐野委員、伊藤委員、加藤（榮）委員、宮崎委員、加藤（博）委員、小河原委員、古橋委員（代理）、林委員、堀田委員（代理）、天野委員、古田委員、河合委員、彌田委員、柴田委員
欠席委員	山田委員、平松委員、永田委員
出席者（市）	なし

事務局	(企画政策課) 葛谷企画部次長兼企画政策課長、加納副主幹、藏城係長、岡田係長、小出主査
会議録署名委員	小澤委員、谷野委員
<p>1 開会</p> <p>●葛谷次長</p> <p>定刻となりましたので、只今から平成25年度第1回清須市地域公共交通会議を開会いたします。</p> <p>私は、企画政策課葛谷でございます。どうぞ宜しく願致します。本日の進行を務めさせていただきます。</p> <p>それでは、会議に入ります前にご報告をさせていただきます。</p> <p>この4月から人事異動などにより委員の方の変更がございますのでご紹介させていただきます。</p> <p>お手元の方に委員名簿というのがお配りをしておりますが、その訂正と併せてご紹介をさせていただきたいと思っております。</p> <p>まず、名簿の中ほどになります。委員区分第3号、愛知運輸支局長又はその指名する者ということで国土交通省中部運輸局愛知運輸支局主席運輸専門官の小河原恵吾様。</p> <p>次に、その下、委員区分第4号、愛知県の関係行政機関の職員ということで、愛知県地域振興部交通対策課の古橋 昭様。</p> <p>それから、その下でございます。訂正できていなくて大変申し訳ありませんでしたが、愛知県警察本部西枇杷島警察署交通課長、名簿の方には吉川 晴久様とあるのですが、堀田 知平様に訂正をお願いしたいと思います。</p> <p>次に、委員区分第5号旅客運送事業者及び関係団体の職員ということで、名古屋タクシー協会副会長の天野 清美様。</p> <p>そして、愛知県バス協会専務理事の古田 寛様。</p> <p>以上5名の方が今回新たに委員にご就任いただく皆様方でございます。皆様方にはこれからお世話になります。よろしく願致します。</p> <p>尚、本日は、公務の為、愛知県地域振興部交通対策課の古橋様におかれましては、山田様が代理としてご出席を頂いております。</p> <p>また、西枇杷島警察署の堀田様におかれましては、太田様が代理としてご出席を頂いております。</p> <p>委員の紹介については以上でございます。</p> <p>会議の出席状況でございますが、本日は1号委員の山田委員、平松委員そして、6号委員の永田委員の3名が欠席でございます。よろしく願致します。</p> <p>それでは、これより議事に入りますが、ここで議事運営につきましてお願いを申し上げます。会議での発言方法についてですが、会議で発言をしていただく際には必ず挙手をしていただき、会長の指名を受けた後係りのものがマイクをお持ちいたしますので、その際ご自身のお名前をおっしゃっていただきご発言を頂くという形をお願いしたいと存じます。よろしく願致します。</p>	

それでは、このあとの議事進行は、会長にお願いをいたします。

●前田会長

これからは、私の方で会議の取り回しをさせていただきます。よろしくをお願いします。

平素から、当事業に何かとご理解ご協力いただきまして大変ありがとうございます。大変天候のすぐれない中、また、多忙の中、委員の皆様にはご出席を賜りまして、大変ありがとうございます。

早速でございますが、レジメに沿いまして会議を進めてまいりたいと思います。よろしく願致します。

はじめに、会議録署名委員の指名をしたいと思います。本日の会議の会議録署名委員は、従来同様、座席順ということで、小澤委員と谷野委員にお願いしたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

議事に入りますが、本日は、報告事項が4件、協議事項が4件となっております。順次、ご報告とご協議をしてみたいと思います。

まず、報告事項の議事(1)「清須市コミュニティバスの運行・利用状況について」及び、議事(2)「清須市レンタサイクルの実施状況について」を一括して議題といたします。それでは、事務局から説明してください。

報告事項(1)「清須市コミュニティバスの運行・利用状況について」及び(2)「清須市レンタサイクルの実施状況について」事務局から説明

●前田会長

それでは、只今の2件の状況報告について、ご意見、ご質問等がありましたらお願いします。

〔意見なし〕

特によろしいですか。ここで、今の報告関連で、当事業にご指導、ご教授いただいております、副会長をしていただいている、加藤先生にご講評をお願い致します。

●加藤副会長

資料1については、この後の資料3と一緒に見た方がいいと思っています。ルートが変わって、市民がどういう風感じたかというデータがございますので、後ほどそれも踏まえた方がいいと思います。

利用者数そのものは全体的に増加しているということで、前回の改正が余り評判が良くなかったということもあって、今回見直しをして大分その時の問題点が改善されました。そのこともあり、利用者が大きく増えたという事実があるということです。

コメントの中で、その後徐々に微減しているというコメントがありますが、清須は7、8月が多いという特徴があり、それから冬は少なくなります。一般的には、寒くなると出かけなくなるので減るという自然的な減少ですので、この微減というのは、魅力が落ちて利用が少なくなったということではないと考えております。

ですので、少し後で聞きたいのは平成25年の4、5月辺りがどういう状況になっているのかということをもう一回確認をさせていただきたいです。

本当は、平成24年7月以降のデータを見て、7月は2年目になってきますので、1年目に比べて多くなってきているかということがポイントになってきます。

従って、まだここで判断は難しいのですが、1年目は順調に多くなってきているということだと思います。

それから、サクラルートがいまいちだという意見というかデータが出ているわけですが、サクラルートは非常に短絡的なルートになっています。

もともと西枇杷島地区から春日地区へ早く行けるという設定でもあるので、あしがるバスの実証運行時に考えていたようなルートである、駅から遠いところを細かく結んで運ぶといった部分がサクラルートにはない状態ですし、春日地区もそれほど需要がない状態なので、こんなところかと思っております。

ただ、これも以前から議論があるのですが、もう少し図書館で需要がでてこないかという話もあって、これについては、この後皆さんから意見をいただき、どうすれば図書館の需要が増えるか、市民だけではなく市外の方がどうやってこられるかという話もあるようですので、その辺も知恵があれば出していただけると良いのではないかと思います。

とはいえ、オレンジにせよ、サクラにせよ、夢広場はるひが利用の上位にきています。

相変わらずヨシヅヤは圧倒的に多いわけですが、順調に出てきているのではないのでしょうか。1年目にこういう状況ですので、2、3年と取り組んでいけばもう少し増えていくことは十分考えられると思っております。

あと、乗継券はたくさん出た方がいいのかどうかというのは疑問もありまして、乗継券がたくさん出るということはルートが余り良くないと言う話でもあるということで、決してたくさん出ることが良いこととは思っていません。

ただ、要はグリーンルートで夢広場はるひに行けないので、それで乗継が出来るということについてどれだけ使っていただけるかということの話です。

これは、あとのアンケートの方では乗継のことはみんな知ってはいるが、使っていないのか、出来るけど面倒とかダイヤが分からないからなのか、それとも必要がないのか。必要がないというのには、結局、当初狙った新川地区から春日地区に行くという需要があまりないと思っているかもしれないです。

そうであれば、たまには行ってみない？という宣伝もする必要があるのではないかと思います。

いずれにしても、決して致命的ということではなく、順調の方の部類に入るのかという判断はしています。

あと、あしがるサイクルはもっと利用されるといいですね。

これもずっと言っておりますが、完全に市外向けです。市民向けというよりは他から清須市に来ていただいた方が清須市の中を色々動いていただいて、清須市の良さを知っていただくというものだと思います。公共交

通とは違う部類かもしれません。

これは、連携計画の中に入っている事業なので、ここで扱うわけなのですが、私自身は清須市のこの状況を見たときに、市外の方がバスだけで清洲城に行くとか、春日地区へ行くとか、そういったことは出来ない。それをやろうとするとお金が掛かるということで、その時にレンタサイクルで行けたら非常に便利だということなので、もう一度PRの方法を見直して、外向きになるべく宣伝をして、だんだんと定着をさせられればいいなと思っているところでございます。

外向けというと、市民の皆様からすると、そこに税金使うのかと思われるかもしれませんが、一方で清須市は道が狭いので、こうやって電車に来ていただいて、自転車で回れば色々なところも見られる。

そして、気軽に物を買ったりも出来ますし、それから渋滞も交通事故の減少にも繋がります。

もちろん、その為には自転車が走りやすい環境づくりもしていけないといけないですが、そういったことも含めてこのレンタサイクル事業は地道に続けていけたらいいなと個人的には思っているところです。以上です。

●前田会長

ありがとうございました。委員さん他に何かございませんか。

ご質問もないようですので、これで報告事項の(1)と(2)を終わらせていただきます。

続きまして、議事(3)「アンケート調査の実施について」をご報告したいと思います。それでは、事務局から説明してください。

報告事項(3)「アンケート調査の実施について」事務局から説明

●前田会長

ありがとうございました。それでは、この報告について、ご意見ご質問等がありましたらお願いします。

はい、小澤委員。

●小澤委員

小澤です。アンケートの中の利用者アンケートなのですが、性別は男女合わせると100%に近いのですが、他の項目が合計した時に、例えば、職業とかは76%と少ないのですが、これは回答がなかったということなのですか。

●藏城係長

この数字の中には未回答もありますし、職業欄については主な職業をこちらに載せさせていただいております。利用目的につきましては、未回答の部分でございます。

●小澤委員

その利用目的の中で、公共施設利用というのがあるのですが、これは駅の利用は含まれていないということですか。

●藏城係長

市の公共施設の利用ということでお伺いしております。鉄道を使ってということは伺っておりません。

●小澤委員

それから、ダイヤ改正のご意見のところ、合計がグリーンルートですと53%をきるような数字になっておりますが、これは、先程言われた様に回答がなかったとみていいですか。

●藏城係長

はい、そうです。

●小澤委員

アンケートの結果を出して頂く時には、アンケート用紙を付けていただけると分かりやすいので、次回からは出来たら配布したアンケート用紙を付けていただきたいと思います。

●前田会長

ありがとうございます。他に委員さんご意見、ご質問なんでもよろしいのでよろしくお願い致します。

はい、古田委員。

●古田委員

古田です。今回、この会議に初めて参加させていただきまして、まずこの部分で気になったのは、先程お話がありましたように、アンケートの数字が100%にならないところです。

例えば、年代でもそうなのでしょうけど、これを全部足しても80%位しかなく、上位のみ掲載となるとあと16%か17%というのは0歳代とか20歳代、40歳代、こういう風になるのかなと思うんです。

アンケートを取られたときには、きちんと未回答が何%あるとか、全部100%になるような形で出していただいた方が分かりやすいのかなと思いました。

それから、非利用者アンケートの中で、知らないという方が16.5%あったので、それに対して、事務局としては今後どのような考えでどういう風に利用促進を図っていくお考えですか。PRという言い方があろうと思いますが、PRでなく、もっと具体的なやり方を少し教えていただければと思います。

例えば、個人的な話なのですが、基本的に利用しない人をどうしたらバスに乗せられるか。たとえ、月に1回でもこういうものは維持しなければならないのですから、協力しようという声も聞き取れないのでしょうか。

自分はマイカーだから乗りませんよ、というだけではなく、公共のコミバスというのはすごく有効なものである、もう少し利用して、例えば、維持をする為に乗っていただけるような方策等のことも聞いていただければいいのかなと感じました。

● 藏城係長

説明が不足しておりまして申し訳ありません。認知度を上げるための、PRについては、事務局の方でも以前から行っていたのですが、広報誌等であしがるバスに乗ってお出かけをしましょう、という様な特集を組んで、あしがるバスを利用した市内の主な施設へのご案内などを、毎月連載していきたいと考えております。

あと、その他に、ご意見があればこの場で委員さんの方からご意見の方も頂戴したいと思っております。

● 前田会長

ありがとうございます。他に委員さん何かございますか。

〔意見なし〕

ご質問もないようですので、これで報告事項の議事(3)を終わります。続きまして、報告事項の議事(4)「地域公共交通確保維持改善事業の第三者、評価委員会の結果について」をご報告いたします。

それでは、事務局から説明してください。

報告事項(4)「地域公共交通確保維持改善事業の第三者評価委員会の報告について」事務局から説明

● 前田会長

ありがとうございました。只今、事務局の方から報告事項につきまして、説明がございました。委員さんからご意見、ご質問等がありましたらお願いいたします。

はい、佐野委員。

● 佐野委員

佐野でございます。今回の第三者評価委員会ですが、午後4時30分から午後6時30分の2時間で6協議会の評価をされたとあります。

単純計算で、1協議会につき約20分であるので、評価の概要を説明し、合計20分ということになりますと、どこまで全体の把握が出来たのかは、難しいところだと思うのです。

清須市の公共交通事業の自己評価に対して、第三者評価委員会として多少改善の余地のあるものの、概ね「良」という評価と受け止めてもよろしいのでしょうか。

● 藏城係長

そうですね、私どものご意見を頂戴した中では概ね「良」のご講評をいただいたものと認識しております。

● 佐野委員

加藤先生が評価委員会のメンバーということで、この場におられるので

言いにくいところかもしれないのですが、6協議会全てに絡んでおられるのでしょうか。

● 加藤副会長

そうではなくて、中部運輸局管内の5県の90団体ほどの全ての評価をしました。

この日の2時間の間には、6協議会があったということです。全体としては、合計3日間行いました。

評価書は、前回の公共交通会議でも審議をしましたが、どういう計画で、どういう風にやって、結果どうだったと、そして、これからどうして行きたいかを記載したものです。

その評価書を各協議会に説明していただいて、それに対して評価委員がコメントしたということになっています。

事前にも頂いているのですが、事前といってもそんなに読み込むことも出来ないで、その場で聞いて答えたということになります。

私の場合は、全部知っているのいいですが、他の委員さんはそれほど詳しいわけではないので、その場で評価という感じになりました。

私の印象では、そんなに抜本的に改善しろとかそういう事にはなっていないはずですが、問題はありますが、これからも頑張ってくださいねということだったと思います。

以前ですと、この協議会は会議をきちんとやっていないだとか、非常に場当たりの的であるという指摘を受けたと思うのです。それについては計画通りやるようになりましてということになっております。

あと、連携計画について、協議事項(2)はあとで議論になると思うのですが、連携計画をきちんと中部運輸局の方で認定していなかったということがあったので、これをきちんとやってください、ということです。

これは、後で改定の議論が出ます。せっかく策定しているのに、国に認定を受けていなかったということは、この協議会が悪いのではなく、国が悪いのです。国の方でやってなかったということなのです。ご心配なさらずとも、それで予算がカットされるということはないはずです。

● 佐野委員

それに関連して、この公共交通会議の委員となって7年参加しているのですが、先日の市民満足度調査でもコミュニティバスについて、賛否両論、様々意見が述べられており、万人が納得する施策というのはお金も掛かることですので難しいとは思っています。

より多くの共感とか賛同を得られるように、努力、工夫が必要という意味でこの協議会があるわけです。

6協議会が評価対象だったわけですけど、多種の取り組みの中で、この清須市の事業に参考になる具体的事例だとか工夫されている点だとかこういう風にされた方がいいというのはありましたでしょうか。

● 加藤副会長

先程申しましたように、6協議会だけでなく、もっとたくさんやっております。



また、私自身も20箇所くらい地域公共交通会議の委員をやっておりますので、そちらの経験も踏まえてこちらでお話しておりますので、決して皆様に対して、出し惜しみはしておりません。

特に、委員の住民代表の皆さんには、こんなのは言ってもどうなのという様なことも言っていたら、意外とそれをきちんとまじめに取り組み、うまくやっているような自治体もありますし、あるいはうまくいかなかったとかいうのがありますから、忌憚なくご意見を言っていたら私の経験の中で、それはいいですとか、そういうのはもっとうるさいものがありますとコメントできますので、どんどんそういう意見を言っていたらと思います。

繰り返しになりますが、清須市は、決して「優」でもないですが、「可」でもない、「良」ではないでしょうか。大学教員が言うとなかなか発言が重いのですが、そんな感じです。

●前田会長

はい。伊藤委員。

●伊藤委員

伊藤と申します。図書館の件です。この中にも図書館と連携していく、という項目があります。

実は、私は5分もあれば図書館に行けます。

例えば、この前の日曜日にミニコンサートを開催しています。一生懸命、館内放送はしますし、子供さん達も親と一緒に来るのですが、それは館内にいる人にしか分からないのです。

その前の週も催し物がありました。今回は、美術館の方で中学生の絵が展示してあって、かなりの人が来ていたのです。そうすると自転車置き場は満車、駐車場も満車なのです。

市の広報に図書館の催し物を載せる事によって、例えば新川や枇杷島の人に来るのに子供連れで自転車よりもバスで来るのではないかとの思いもあるのです。

だから、ここにも書いてありますが、図書館、美術館の催し物についてもあしがるバスと結び付けられないかなと思いがちですので、一度お考えいただければと思います。

●藏城係長

その様なイベントの際、図書館、もしくは関係部局と連携しまして、チラシ等配付する事になると思うのですが、広報などに載せていただく際には是非バスもご利用くださいということ等を常に載せてもらうように内部的に密に連携をとり、やっていきたいなと思います。ありがとうございます。

●前田会長

はい。小澤委員。

●小澤委員

小澤です。図書館の話が出ましたので、私も図書館の件なのですが、大体図書館の利用者は何歳くらいが多いとか、学生が多いのか図書館へ来るのにどういった足で来られるのか、車なのか自転車なのか徒歩なのか、バスなのか。そういったことも図書館の方に当たってもらって、調べていただきたいなということが1点。

それから、加藤委員にお伺いしたいのですが、北名古屋市のきたバスと相互に乗り入れるとか、西春駅と清洲駅と結ぶとかいったことは可能なのでしょうか。

#### ● 藏城係長

先程の小澤委員からのご意見ですが、実際の図書館の利用状況、利用者の傾向等の調査を行っているかどうかはこちらもまだ把握できていないのですが、私どもの方にも情報を提供していただけるように依頼をしまして、もしそういった調査をしていないということでしたら、一度やっていただくようにこちらからもお願いして、状況などについては当会議でもご報告をさせていただきたいと思えます。

#### ● 加藤副会長

その前に、先程の施設の案内とかに、公共交通の利用についてきちんと書いておくというのは、これは徹底してやらないといけないものです。

最近だと、例えば明治村とかモンキーパーク等でも名鉄電車を使ってください、というのが端っこに書いてあります。これについては、本当に繰り返し口が酸っぱくなるほど言っているのですが、広報を見て載ってなかったら次から載せなければいけない。これを徹底してやらなければいけないのです。

私も、色んなところで言ってきましたが、その最寄りの交通案内の中で、車で何分とか駐車場が何台という前に、バスで何分どこで下車という風に絶対書きなさいと言っています。出来れば、そちらを大きくしなさいという。なるべくなら公共交通機関でお越しくください、と書いて、やむ終えない場合は駐車場もございませう、というような書き方をするというのを徹底する。これをやってほしいなと思えます。

それから、図書館は通常公共施設の中ではバスと相性がいいと言われていています。体育館は非常に悪いと言われていています。それに対して、生涯学習施設とか温浴施設とか、あるいは図書館などに来られる方は公共交通機関で来られる割合が多いというような事が言われていますので、きちんとPRすると利用者が増えてくるかもしれない。

それから、相互乗り入れの話が出たのですが、それは全く問題なく出来ます。手続き的には、例えば、あしがるバスが稲沢へ行くとか北名古屋へ行くとかということであれば、稲沢市の地域公共交通会議、北名古屋市の地域公共交通会議諮ってもらって、バスを通してもらうということになっております。

また、その逆もあり、北名古屋市さんがこちらへ来るのであれば、その路線についてこちらで認定するという手続です。

実際には、この辺りはやっていない状況なのですが、よくやっているのは、長久手、日進、東郷です。あの辺りは、東郷ですと鉄道駅がないので、

日進駅へ行くとか米野木駅へ行くとかです。日進駅、米野木駅は日進市なので、日進市の公共交通会議で認定しています。

それから、日進のバスは逆に長久手の古戦場へ運行しています。これは長久手のエリアですので長久手市の公共交通会議で認定される。その様に相互乗り入れは、あの辺りだとかなり頻繁にやっている事です。

明後日、東浦町の会議ですが、東浦町のバスは大府市と刈谷市に乗り入れていますので、大府市の地域公共交通会議で認定される。それから、刈谷は公共交通会議がないので市の職員さんに来ていただいて、そこで了承を得る、という手続きで出来るようになっております。

だから、無断では出来ないのですが、ちゃんと認定してもらうことで出来ることになっております。相互乗り入れはお互いにやるという事です。

●前田会長

はい。小澤委員。

●小澤委員

清須の図書館は貸し出しをする所からバス停まで距離があります。

図書館で本を10冊借りて持って行こうと思うと、年配の方には重い気がします。出来れば、スーパーにあるようなカートみたいなものを数台置いていただいて利用できるようにすると、年配の方も利用しやすいのかなと思いました。

●前田会長

事務局、ひとつご検討をお願いします。

はい。佐野委員。

●佐野委員

今のことにも関連することですが、ご意見に対する答弁というのを見ておりましたが、この会議に関わらず、市役所の答弁というのは、市役所のホームページ、広報、パブリックコメントといったものに、きちんとPRしておりますという声が必ずあります。

しかし、ホームページを見る方は何割みえるか。広報とパブリックコメントに載せました、だけで済まさないで、少しPRのあり方の知恵を絞って考えていただきたいと思います。

●前田会長

はい、ありがとうございます。事務局の方、佐野委員さんのご要望を是非聞いていただくように、よろしくをお願いします。

他の委員さんご意見、ご質問等ございませんか。

〔意見なし〕

ご意見、ご質問もないようですので、これで報告事項の4を終わりたいと思います。

報告事項を終わりました、次に議事の協議事項に入ってまいりたいと思

いますので、よろしく願致します。

最初に協議事項（１）「平成２５年度清須市地域公共交通会議スケジュールについて」説明を願致します。

協議事項（１）「平成２５年度清須市地域公共交通会議スケジュールについて」事務局から説明

● 前田会長

ありがとうございました。只今、事務局の方から協議事項につきまして、説明がございました。委員さんからご意見、ご質問等を賜りたいと思いますので、よろしく願致します。

はい。佐野委員。

● 佐野委員

ルート・ダイヤ改正の件ですが、前回から約１年半でルート・ダイヤ改正という予定なのですが、これは、全面ルート改正ということではなくて、道路開通に合わせて、それを考慮したという形で考えてよろしいでしょうか。

● 藏城係長

はい、これまでも会議の場でそういうご質問等をいただいているかと思うのですが、次回予定しておりますルート・ダイヤ改正につきましては、先程もお話させていただきましたように、西枇杷島地区のＪＲアンダーの開通に合わせて、小規模の改正となります。

昨年７月にルート・ダイヤ改正を行い順調な利用を継続している状況でございますので、あまり大きく手直しをするという想定ではございません。

アンダーパスの開通に合わせて、以前からご意見を頂戴しております芳野公園辺りのルートが以前廃止となりましたので、あそこに通してほしいというご意見もございますので、そういった事もふまえて小規模なルート・ダイヤ改正を考えております。

● 佐野委員

今それを聞きましたのは、先程も申し上げましたけども、市民満足度調査では沢山のご意見が皆様から寄せられておりますのと、今日見せていただいていたつばめ自動車の彌田様が作られたというコミュニティバスに対する意見、大変貴重なご意見も読ませていただいて、こういった事を考慮した案として、この２回目の時には出していただけるとありがたいと思います。よろしく願致します。

● 前田会長

今の佐野さんの発言についてよろしく願致します。

● 藏城係長

今回、つばめ自動車さんの方からも色んなご意見も頂戴しております

て、事務局の方にも直接お電話を頂戴し、ご意見もいただいておりますので、そういったご意見の方を取りまとめまして、どの様なルートの改正を行っていくかを集約した状況で第2回会議の前に専門会議の方も開催させていただく予定ですので、またその場で審議委員さんにはお集まりいただきご意見を聞く場を設けさせていただきたいなと思っております。

その際には是非活発なご意見を頂戴したいなと思っております。よろしく願致します。

●前田会長

はい。小澤委員。

●小澤委員

ダイヤ改正の件で、資料7のことですが、次に話が出るかと思えます。車両の更新の話がありまして、その中で、もしポンチョを入れるなら車両サイズが大きくなるので運行路線を道路幅が広い路線へ変更という事でかなり大掛かりなルート改正になるのではないかと思うのです。

車両の更新とルート改正の関連はどの様な考えでおられるのでしょうか。

●藏城係長

あとの協議事項の中に車両の事でご協議をいただく形になるのですが、事務局の想定としましては、大型車両を導入するという事を考えているのではなく、現在のルートを基本的には大きく触らないという前提で、車両の方は大型車両ではなく、小型の車両を導入するという方向でご検討していただきたいと思っております。また、改めて後から説明をさせていただきたいと思えます。

●加藤副会長

つばめ自動車さんの意見を後で紹介していただけると思うのですが、車両を替えるとルート運行時間が伸びるという可能性もご意見いただいています。そういう事を含めて、ルート改正するとなると、どのタイミングなのでしょう。そして、その車が入るのはいつ頃の見込みですか。

●藏城係長

現在の車両が9月中に車検が切れる状況でございまして、出来ればバスの車検の切れるタイミングに合わせて車両を入れ替えたいと考えております。

●加藤副会長

そうすると、2月より前になりますか。

●藏城係長

はい。車両の入れ替えは、ルート改正前と考えております。

●加藤副会長

その辺りを考慮した改正は仕方がないので、2月にやるのか、少しつめる必要がありますね。今の運行時間でいいのかどうか、ちょっと疑問があるという様なご意見も出ていますので、その辺は今すぐには議論できないですが、そういう事も含めていただきたいということです。

● 前田会長

このスケジュールに関しまして、本件にご質問ないようですので皆様方にお諮りしたいと思います。

本件に関しまして、ご承認いただくという事でよろしいでしょうか。

〔異議なしの声あり〕

ご承認いただきまして、ありがとうございます。それでは、これで協議事項（1）を終わりたいと思います。

続きまして、議事の（2）「地域公共交通総合連携計画の一部改正について」を議題と致します。事務局から説明をお願い致します。

協議事項（2）「地域公共交通総合連携計画の一部改正について」事務局から説明

● 前田会長

ありがとうございます。それでは、只今事務局から説明のありました協議事項につきまして、皆様からご意見・ご質問等がございましたら、お伺いいたしますのでよろしくお願い致します。

● 前田会長

はい。小河原委員。

● 小河原委員

運輸支局の小河原です、よろしくお願い致します。

今頂いた連携計画の修正案につきまして、全体的なものが分からなくて抜粋版という事ですが、確認をさせていただきたいのは、①のあしがるバスについては今までの実際動いている事が書いてある。③については今年度の事でよろしいですね。

今回10月にルート・ダイヤの改正する分がどうなるかは分かっていないのですが、それも加味して考えさせてもらうのですが、とりあえず、この連携計画が一旦途絶えたということがございますので、そこは持ち帰ってまたご相談をさせていただきます。

今回、この審議の中では内容だけを審議していただきまして、あと手続の方法については事務局と運輸支局が話し合っただけで責任を持ってやらせていただきたいと思っておりますので、そこだけ了承していただければなということをお願い致します。

● 加藤副会長

先程、国がきちんと認定してなかったという言い方をするといかにも一

方的に国が悪いという風に小河原さんに非常に悪い言い方をしてしまったかもしれませんが、要するに、このあとに議論する議題の4の清須市生活交通ネットワーク計画が今ですと、国からお金を頂ける為の計画になっています。

以前は、これは連携計画だったわけです。だから、連携計画を出したらお金をもらえる時には国も連携計画に対して注意をかなり払っていたのですが、生活交通ネットワーク計画を出したらもらえるとなった途端に忘れてしまったという、これは中部のみならず全国的にそうで、私はその事について3月に気付いて、本省にどの位そういう事で知らないうちになくなってしまった計画があるのかということの全国調査をしていただきました。そうしたら、全国の3割以上の計画が失効していたということで、その中に清須市も含まれていたということです。

なので、これは事業仕分けの事とか色々な細かい、ややこしいことの結果としてこうなってしまったので、清須市も復活して、全国的にも連携計画をもう一度きちんとやり直すということを取り組んでいただいているところで、特に新委員の方には連携計画はまだ全体を読んだことがないわけで、読んだことがないのにごく一部のところだけ修正してどうなのと言われても答えようもないのです。

これは、事後でもし冊子があれば見ていただけるといいですし、今用意できなければ後ほどでも、新しい委員さんに配っていただくことをお願いします。概要版も併せてお願いします。概要版は方針ですのでほとんど変わらないものだと思います。なので、ここは内容的に実際の路線が変わったので置き換えるというだけですが、この地域公共交通会議の憲法みたいな大事なもののなので是非一度読んでいただきたいと思います。

● 前田会長

今、愛知運輸支局の方から確認の事項をふまえた中でこの協議事項のご承認を頂くという内容でよろしいですね。よろしく願致します。他に委員さん何かございますか。

● 前田会長

はい。加藤委員。

● 加藤（榮）委員

加藤です。よろしく願致します。今のご意見の範囲ではないのですが、バスに如何に乗ってもらおうかという事に対して、2つ位提案をしたいと思います。

敬老の日に、小銭入れなどを渡されるのですが、そういう物をなくしてバス券にしてもらおうという事は出来ないのでしょうか。他の市町村はやってらっしゃるみたいなのですが、清須市はどうなのでしょう。敬老の方に乗ってもらえば、お孫さんと一緒に行ったり、家族で行ったりする事が多くなるのではないかと思います。

もうひとつは、キリンビールに食事に行かれる方が沢山お見えの様なので、団体さんでよくJR枇杷島駅でバスをお待ちになっているのですが、あのお客様を何とかして、おそらく他市の方なので、例えば清洲城に行く

には何に乗っていくと行けますよとかヨシヅヤに行けますよとかどっちに行くとか書かずに目的のところだけ書いて、待ち時間にそれを見てもらい、皆さんに知ってもらおうという事も1つの手ではないかといつも思うのです。沢山乗られて、そして時間があるものですからオロオロしてらっしゃるのです。

ですから、何か1つ書いたものを利用してもらうまでの間にインプットしてもらえそうなことが出来ないのだろうかといつも思っています。

JRで来る方が多いので、多治見とか名古屋の方からとか沢山いらっしゃるみたいなので、そういう方にもコミバスを利用していただきたいと思いますので、何か考えてもらうことが出来ないでしょうか。こんな話で申し訳ございません、よろしく願致します。

● 前田会長

はい、今加藤委員さんからの要望でございますが、事務局から一言願致します。

● 藏城係長

はい、1点目の敬老の日に配られる記念品等につきましては、関係の部局とあと無料券という事でございますので、こちらの有料で運行しているバスという事でございますので、そういった物を配布するにあたって、運輸局等の申請も必要になってくるかと思えます。色々調査して検討をさせていただいて、もし出来るようであれば、ご意見として考えさせていただくということをお願いします。

あと、キリンビールさんの話については、おそらくなんです、枇杷島駅から無料のバスが出ているものですから、そちらをご利用されてキリンビールに行かれるという事が多いのかと思えますので、私どもの方でも、企業さんの方に広告等も含めて色々これから回って行きたいと考えております。そういった中で、お店などに来られるお客さんに対してチラシを配っていただくとかいう事も含め、考えていきたいと思っております。

● 加藤（榮）委員

私は、待っている時間に広告など出しておいてそれを見てもらって、コミュニティバスがあるということを知っていただきたいという意味だったのです。言い方が悪かったみたいで申し訳ありません。

● 前田会長

そういったことなので事務局願致します。

● 前田会長

はい。小河原委員。

● 小河原委員

無料券の話ですが、おそらく手続は必要ないと思えますので、導入にあたっては事前に愛知運輸支局にご相談していただければと思えます。



● 前田会長

ありがとうございます。他に委員さんございませんか。

〔意見なし〕

ご意見もないようですので、ここでお諮りいたします。本件に関して、ご承認いただくということで、よろしいでしょうか。

〔異議なしの声あり〕

ありがとうございます。それでは、これで協議事項の議事(2)を終わります。

続きまして、協議事項(3)「車両の更新について」を議題と致します。事務局から説明をお願い致します。

協議事項(3)「車両の更新について」事務局から説明

● 前田会長

ありがとうございます。それでは、只今事務局から説明のありましたこの協議事項につきまして、皆様からご意見、ご質問等がございましたら、賜りたいと思っておりますのでよろしくお願致します。

● 前田会長

はい。佐野委員。

● 佐野委員

すいません、少し分かりませんので、教えていただきたいです。このトヨタハイエースというのは、ローステップと言いますか、乗降時はステップが低くなるものなののでしょうか。

たまたま、先日テレビを見ておりましたら、オンデマンドバス、元気バスとか言うものだったのですけれど、停まると35cmまでカクッと低くなるんです。非常に乗りやすいつて言う意見があったのと、つばめ自動車さんが提出された意見にも書いてあるのですが、ステップが高くて乗りづらいという意見だとか、市民満足度調査の中にもそんな声があったのですが、このトヨタハイエースというのはどういう仕様になっているものなののでしょうか。

● 藏城係長

こちらの車両については、現在運行しているハイエースと同型車両ということで、ステップは低くなりませんし、停車して乗り降りの際に、ポンチョのように車両が下がるといった構造にはなっていない状況でございます。

● 佐野委員

そういう仕様にするには車両代が高いというか、改造自体がないという

ことですか。

●藏城係長

標準の形ではないのですが、そういう車両を改造をしてまで導入をするかどうかということにまでなってくるのですが、先程の説明でもらしているのですが、今回購入する車両については、補助制度がございません。

補助が受けられない車両という事になりますので、そこまでの改造がどれくらいかけて出来るものなのか、そもそも出来るものかということやそこまでやるべきかどうかという事もあります。現状、標準装備ではそういった装備はない状況でございます。

●前田会長

委員さんよろしいですか。ありがとうございます。他に何かお聞き願いたい件ございますか。

●前田会長

はい。林委員。

●林委員

前にポンチョを入れる時に、車椅子が乗れるようなバスだったら補助金の対象になると言うような事を、私の記憶違いかもしれませんが、聞いたような記憶があるのです。

今回は、トヨタハイエースだと、これは車椅子対応で、補助金が対象外ということが、少し分からないので教えていただきたいのです。

●藏城係長

補助の対象になるのが、定員数が確かあったと思うのですが、この車両の場合は補助の対象にならないということです。

●前田会長

はい。天野委員。

●天野委員

タクシー協会の天野と申します。

私は、つばめ自動車の社長でもございますので、運行事業者ということなのですが、私ども運行事業者の方で資料も出させていただきましたけれども、この中で車椅子対応でそれに対応するドライバーについては、ユニバーサル研修を実施して、車椅子の対応をよりスムーズに出来るようにするという事は事業者としては当たり前のことなのですが、乗降についての時間は掛かります。

そうすると、今でもダイヤ的にぎりぎりというルートがほとんどなわけですが、そこでダイヤの見直しが若干必要になってくるのではないかという風に危惧をしております。

対応することについては、やぶさかではございませんし、私どものもっとも得意としているところなのですが、物理的には時間が掛かりま

す。その点、今の乗り継ぎなんかも時間的に間に合わないのご指摘があります。

特に、グリーンルートにつきまして、実際に運行が難しいと考えておりますので、是非この点について清須市としても、あるいは委員の皆さんもご考慮をいただきたいと思えます。

あと、バリアフリー補助で今回補助にあたるかあたらないかは、乗車定員で決まっております、タクシーかバスという事で11名のところでラインが分かれているということでございます。

今回は、ドライバーをいれて8名の定員で、全部で9名乗れるのです。結果としてタクシーになるので対象外ということになります。

●前田会長

はい。林委員。

●林委員

これは、トヨタハイエースの車椅子対応車に替えてはという提案だと思っておりますが、このデメリットを見ていると、今、月1回定員オーバーなのが、毎日1回弱程度定員オーバーするとあります。

要するに、30倍くらい定員オーバーの回数が増えるというので提案されているとは思っておりますが、これでいいのでしょうか。

●藏城係長

今回、この車両をご提案させていただくにあたりまして、私ども、今はつばめ自動車さんと委託させていただいている中で、定員オーバーになった際タクシーを配車していただいている、月に3回以上になりますと出動料金を負担するということとさせていただきます。今回車両を導入するにあたりまして、1日1回弱程度増える分の回数分を考慮しまして、私どもの市の予算につきましては、その分を考慮する形で予算を確保しておりますので、この車両を導入しても運行は継続できる状況、費用的な面では運行が出来る状況でございます。

●林委員

私が聞きたいのはお金の話ではなく、毎日必ず定員オーバーを起こすようなサービス水準でいいのですかという質問です。

●藏城係長

そういったご意見も当然あるかと思いますが、現状、選択出来る車両というのが、この車両の候補しかないという状況でございますので、他にいい方法があればというところでございますが、現状それも仕方がないというところでございます。

●前田会長

はい。天野委員。

●天野委員

私が聞き違いをしているかもしれませんが、コミュニティバスの運行そのものについての補助金というのが当然あるというお話をされています。それは、車椅子が乗車できるものでなければ、そういう対象にならないという事務局の説明と私は受け取ったのですが、違うのでしょうか。

つまり、コミュニティバスの車両の補助は、車椅子が乗れる車両でなければならないという風に受け取ったのですが、間違っているのでしょうか。

● 藏城係長

そうですね。現在の法律上では、営業用の路線に使う車両については、基本的には車椅子対応の車両ではないと導入できないという状況でございますので、この車両しか選択がないというところですよ。

● 前田会長

よろしいですか。他に委員さん、ご質問等ございましたら、願致します。

● 前田会長

はい。加藤副会長。

● 加藤副会長

交通バリアフリー法において、路線バスは車椅子対応でないといけません。補助金をもらえるか、もらえないか以前に新規登録をする時にそうじゃないといけないという事になっていますので、仕方なく10人乗りでなく、車椅子が乗った時は8人、それから乗らない時は9人という車にするのですが、そうなった時に10人以下はタクシー車両にあたるので、バス車両としての減価償却費の補助は受けられないことになっているということで、2重に痛いのです。

実は、最近、内閣府の地方分権の検討委員会の委員になったのですが、そちらの方で出てきている色んな特区申請とか規制緩和がらみの中で、この要望が非常に多いです。

小さい車両で運行してきたのに、こういうことしか出来ないというのは、国の規制としてどうなのか。

特区を出させてもらうのが非常に多くなってしまっていて、残念ながら、私が今回就任する委員会では、その議論はできないことになっているのですが、それは色々言っていこうと思っております。

ただ、今言っても変わらないので、現段階では申し訳ないのですが、こういうことしか出来ない状況です。

私自身は、以前からも申しているのですが、車椅子対応というのはそんなに多く発生しないので、むしろユニバーサルタクシーをつばめ自動車さんに持っておいていただいて、車椅子対応が出て来た時に、ユニバーサルタクシーを出してもらう。むしろ、その方が実質的に非常にいい。

しかも、そのユニバーサルタクシーは通常のタクシーにも使えるので、身障者の方にとってサービス向上になります。

交通バリアフリー法というのは、障害者の皆さんも健常者の皆さんと同じようにバスに乗れないといけないということを優先しているのです、こう

ということになったという事になります。

何が正しくて、何が正しくないとか、何がより優先するのかしないのかという議論の中で、今の法律はこうなっているので、そのために清須市のバスもこういうことになりましたということです。

あとは、お金の話が出たのですが、追車が間違いなく1日1回程度出てくるということなので、最初から毎日追車をするようなところは、最初からダイヤに入れておくというのはどうでしょうか。

それも、この後のネットワーク計画で諮るわけですけど、その中の補助申請経費に入れておいたらどうなのですか。

車両が替わるので、この便が1便だけど2便、1便増になっています。タクシー車両で1便増なんですと説明する。

だから、その分補助金がたくさん必要です、と説明する。これは、国がそういう基準を設けているのだから、それでお金がたくさん必要になったのを出してもらうのは全然おかしくない。定員超過する便は、ある程度集中していますよね。

#### ● 藏城係長

はい。傾向としては大体この便は超えそうだという事は分かっている状況でございます。

#### ● 加藤副会長

そうであれば、最初から追車しておいて、最初から補助に含めて準備しておく。

あと、いつもあまり乗らないのに、急きょ追車するときには、追加費用の対象にするみたいなことにされたらどうですか。

林さんのおっしゃった、恒常的に追車が起ることは本来あってはならない。

ちなみに、隣の稲沢市はそういう状態がずっと続いており、車両を大きくしました。あるいは、増便したという経緯があります。

だから、同じバスで必ず毎日8人乗りの後ろに4人乗りがいなくてはならないっていうのは、これはもう全く異常な状態で本来あってはならないですが、ただ、清須市はどうしても車両的にこの車でないと走れないところが非常に多い状態なので止むを得ないです。

では、もう1台入れたらいいかということ、例えば、ダイヤをどうするかとか、ややこしいことがまた出てきます。なので、今はこういうやり方でカバーするという事だと思います。

#### ● 前田会長

他に委員さんよろしいですか。

〔意見なし〕

ありがとうございます。他にご質問もないようでございますので、ここでお諮りいたします。本件に関してご承認いただくという事によろしいでしょうか。

〔異議なしの声あり〕

はい、ありがとうございます。これで協議事項（３）を終わります。

続きまして議事の協議事項の（４）「清須市生活交通ネットワーク計画案について」を議題にいたします。

協議事項（４）「清須市生活交通ネットワーク計画案について」事務局から説明

● 前田会長

ありがとうございます。それでは、只今事務局から説明のありましたこの協議事項につきまして、皆様からご意見ご質問等がございましたら、よろしく願致します。

● 前田会長

はい。小河原委員。

● 小河原委員

運輸支局の小河原です。すいません、申請をいただく立場でどこまで話せるかという事があるのですが、少しお願いがあります。

まず、１番の目的、必要性の書きぶりなのですが、この事業を確保維持の為に目標だとか必要性というのをもう少し変えていただきたいです。

今までやったことをずっと書かれるということも必要なのですが、目標をどういったところにおいてやるかを書いていただきたいということです。

それから、次に年間の利用者数が記載されておりまして、昨年いただきましたネットワーク計画より目標の数値が下がっているのですが、もしそういった下方修正したものであれば、その理由をしっかりと書いていただきたいということです。

それから、２ページ目につきまして、この４行の件につきましては、今年度は必要ないと思います。

それから、３ページ目の交通不便地域の指定認定書につきまして、今回は特に必要ないものがございます。特に状況が変わったとか、国勢調査を行った時期についてはこういったものを付けていただきますが、今回はそれが対象とされていないものですから、必要ないと存じます。

それから、４ページ目の９番の車両ハイエースと書いてあるのですが、ここについては（１）、（２）については補助の対象ではないものですから、ここは必要ございません。

ただし１０番について、昨年ポンチョは補助制度を使って購入しておりますのでその償却分について記載が必要になってきます。

最後に１１番で、今回のこの会議の状況を書いただければという風に考えておりますので、よろしく願致します。

● 藏城係長

はい、只今ご指摘いただきました点につきましては、修正を致しましてご提出をさせていただきたいと思っております。

● 前田会長

はい、ありがとうございます。今運輸支局の方からご指摘がありましたものに対しては、事務局でそれなりに訂正していただくという事をお願いしておきます。他に委員さんのご質問もないようですので、ここでお諮りしたいと思っております。本件に関してご承認していただくという事でよろしいでしょうか。

〔異議なしの声あり〕

はい、ありがとうございます。これで協議事項の（４）を終わります。それでは、以上で本日予定されていた議事は全て終了いたしました。最後に確認のために、本日の議事を整理して、事務局から説明をお願い致します。

● 藏城係長

本日は報告事項４件、協議事項４件ということで長時間にわたりました、ご協議いただきましてありがとうございました。

まず、報告事項の中で、色々PR方法についてご意見を頂戴しましたので、その辺りをこちらの方もきちんと受け止めさせていただきまして、PR等行なっていきたいなと思っております。

また、協議事項におきましては、スケジュールをお示しさせていただいておりますスケジュールで今後の会議を開催していきたいと思っておりますので、是非ご予定の方よろしくお願ひしたいと思っております。

また、生活交通ネットワークの補助金申請等に合わせて、計画の改正とか車両の更新についてもご協議いただきまして、ありがとうございます。

この点、ネットワーク計画の方にきちんと反映していきまして、補助金申請をさせていただきたいと思っております。よろしくお願ひします。

ありがとうございました。

● 前田会長

それからですね、先程、皆様方のお手元にあしがるバスに対する意見ということで、つばめ自動車さんからコピーをいただいておりますのでご参考にお読みいただければと思っております。

最後に、各委員さんから何かご質問があれば、賜りますがよろしいですか。

はい。小河原委員。

● 小河原委員

お手元に２枚物の地域共同推進事業費、補助金の創設についてという３枚綴りになったものがお配りになっているかと思っております。

これは、今年度新たに創設されました補助金でございまして、今回清須市さんに合っているかどうかというのは、色々議論されて来年度以降それ

に該当するかという事も含め今後議論になってくるかもしれませんが、地域公共交通確保維持改善事業の一環としてこの補助事業が創設されました。

これの特徴は、基本的にはこういった場で色々議論されまして、要は地域交通総合連携計画に位置づけられることが重要と、3つ目の囲みの中の①の中の※印のところが特に重要になっております。

どんなものに補助金が下りるかというのが2枚目のイラストでございまして、モビリティマネジメントの実施ですとか、地域ワークショップの開催、あと、公共交通マップの作成等について、2分の1の補助が出るということでございます。

あと、それ以外に幹線バス等の支援という事で地域間幹線系統についても色々な要件が交わされたというご案内でございます。

それから、もう1点お話させていただきたいのは、来年の4月、つばめ自動車の社長さんが見えになっているので誠に話しづらいのですが、消費税改定がございまして。

まだ、国の方としても事業者さんに消費税改定の指標についてはご説明していないのですが、おそらく8%の消費税、その次に10%の消費税率となります。

色々事業者さんにも経費もかかるということで、税金がその分、利用者さんにいくらかで乗っている定額の運賃に消費税を転嫁するという事はないとは思いますが、今度は経費の中で色々そういった負担が掛かるとい事も認識されながら話を進めていただけたら、ありがたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。

#### ● 前田会長

ありがとうございます。最後に事務局から他にございますか。

#### ● 藏城係長

本日、会議の開催前にエコモビ推進表彰というチラシを配布させていただいておりますので、この件に関しまして、愛知県さんの方からご説明させていただきます。

#### ● 山田委員

今日、愛知県の古橋の代理できております山田と申します。今、愛知県ではエコモビを推進しています。まず、エコモビという単語をご存じない方もこの中にはいらっしゃるのかもしれませんが。

こちらのエコモビ推進表彰というものを6月4日から8月7日まで募集しております。賞品は出ないのですが、地域で公共交通などを利用するというような事を推進して下さっている団体の方、ちょっと個人の方は対象にはならないのですが、そういった方を賞状しか出ないのですが、表彰させていただくという制度があります。皆様方のお知り合いの方々、例えば町内の方々といったところでも、対象となる場合もございまして、色々なところで広めていただけたらと思っております。以上です。



● 前田会長

はい、ありがとうございました。

続いて、最後に事務局、今後についてお願いします。

● 藏城係長

今後の予定ですが、先程スケジュールでもお示しさせていただきましたように、第2回目の会議の方を11月で予定しております。

早めにご案内と資料のほうも送付させていただきたいと思いますので、よろしく願致します。以上でございます。

● 前田会長

ありがとうございます。それでは、これもちまして、平成25年度第1回清須市地域公共交通会議を閉会いたします。

皆様方におかれましては、長時間慎重にご審議をいただきましてありがとうございました。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

閉会

問い合わせ先	企画部 企画政策課 052-400-2911 内線1224
--------	----------------------------------

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

会 長 前 田 繁 一

署名委員 小 澤 顕 彦

署名委員 谷 野 嘉 一